



inochi
WAKAZO
Forum 2024
報告書

～ともに歩こう。ともに生きよう。
いのち輝く未来に向かって。～



■ タイトル

inochi WAKAZO Forum 2024
～ともに歩こう。ともに生きよう。
いのち輝く未来に向かって。～

■ 主催

inochi WAKAZO Project
一般社団法人 inochi 未来プロジェクト

■ 日時

2024年11月24日(日)
12:00開会／18:10閉会

〈オープニング・開会宣言・協賛紹介〉12:00 - 12:30
〈第1部〉12:30 - 12:40
〈第2部〉12:50 - 16:20
〈第3部〉16:25 - 18:00
〈クロージング〉18:00 - 18:10

■ 会場

コンGRESSクエア大阪中之島
〒530-0005 tell 06-6147-6770
Mail cson@osaka.congres-square.jp

大阪府大阪市北区中之島4丁目3-51
NakanoshimaQross1階

■ 参加方法

公式HP上の参加予約フォームよりお申込み
※参加費無料



協賛

■ Donation Partner リそなグループ

■ i-GIP Partner

一般財団法人三菱みらい育成財団

■ Gold Sponsor

株式会社ワオ・コーポレーション

■ Silver Sponsor

京都リサーチパーク株式会社 / 株式会社

コングレ / 一般社団法人ライフサイエンス・

イノベーション・ネットワーク・ジャパン /

ロコモ チャレンジ！推進協議会 /

公益社団法人 日本整形外科学会

■ Bronze Sponsors

塩野義製薬株式会社 / 日本イーライリリー

株式会社 / 東和薬品株式会社

■ Friend Sponsors

三井住友海上火災保険株式会社 / テルモ株式

会社 / ロート製薬株式会社 / 英進館株式会社 /

堺登美丘ライオンズクラブ / 阪急電鉄株式会社 /

株式会社アインファーマシーズ /

一般社団法人 京都試作ネット / 株式会社

西山ケミックス / 株式会社ニューネクスト /

有限会社グッドウッド KYOTO /

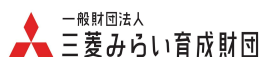
大阪イノベーションハブ /

株式会社Dstyle ホールディングス

Donation Partner



i-GIP Partner



Gold Sponsor



Silver Sponsor



ロコモ チャレンジ！



Bronze Sponsor



SHIONOGI



東和薬品

Friends Sponsor



三井住友海上



アイングループ



New Next



グッドウッドKYOTO



OSAKA INNOVATION HUB



後援

文部科学省 / 大阪府・大阪市/公益社団法人関西経済連合会 / 一般社団法人大阪府医師会 /

公益社団法人東京都医師会 / 日本運動器科学会 / 日本運動器理学療法学会 /

日本臨床腫瘍学会 / 認定NPO法人全国ストップ・ザ・ロコモ協議会 /

一般社団法人日本骨粗鬆症学会 / 一般社団法人日本バイオデザイン学会 /

一般社団法人夢洲新産業・都市創造機構 / 一般社団法人健康医療クロスイノベーションラボ / 大阪

大学大学院医学系研究科・医学部附属病院産学連携・

クロスイノベーションイニシアティブ / 大阪公立大学観光産業戦略研究所 /

大阪大学社会ソリューションイニシアティブ / 関西SDGsプラットフォーム大学分科会 /

公益財団法人長寿科学振興財団 / 大阪商工会議所 / 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 /

独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)大阪本部

[順不同]

オープニング・開会宣言・協賛紹介



12:00～12:30

【司会】	平良 優	立命館大学文学部人文学科1年、びわ湖大津観光大使
【開会宣言】	澤 芳樹	(一社)inochi未来プロジェクト 理事長、大阪警察病院 院長
【協賛企業挨拶】	南 和利	(株)りそな銀行 取締役兼専務執行役員(ビデオ)
【inochi、テーマ説明】	佐々木 理博	i-GIP 2024 KANTO Project Leader
【WAKAZOについて】	成 仁脩	WAKAZO Project Leader

第1部 万博コンテンツ



12:30～12:40

LASTWORDS 宣言
～言葉を通じたペイフワード～

2025大阪・関西万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を考えていくうえで、「いのち」を見つめることは大切だとWAKAZOは考えます。今の社会で「いのち」を考えると、「生」にスポットライトが当たることが多いけれど、「死」という視点も欠かせないのではないかと。

その考えのもと「死」と向き合い、最後に残したい言葉を考える企画「LASTWORDS」をWAKAZOは提案しています。

「LASTWORDS宣言」では、今までLASTWORDSと向き合ってきたWAKAZOメンバーが各々のLASTWORDSをみなさんに宣言しました。また、観客自身のLASTWORDSを考えていただく時間にもなりました。

【進行】	竹原 優 (たけはら ゆう)	WAKAZO 2024 LASTWORDS プロジェクトリーダー
【宣言者】	奥村美玖 (おくむら みく)	WAKAZO 2024 副代表
	田中快 (たなか かい)	i-GIP 2024 KANSAI 中高生
	栗生春那 (くりう はるな)	i-GIP 2024 KANSAI 中高生

12:40～12:50

ドネーションデモの説明

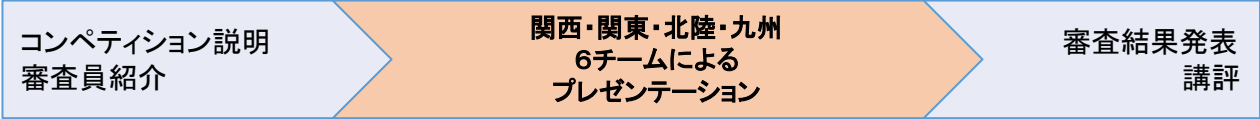
【説明】	竹原 優 (たけはら ゆう)	WAKAZO 2024 LASTWORDS プロジェクトリーダー
------	-------------------	----------------------------------

2025大阪・関西万博では、LASTWORDS、Life Data Donationともに体験型の展示を設置。WAKAZOは今回のフォーラムをプレ万博と位置づけ、Square150にて2つのプロジェクトが展示を行いました。宣言をした3人の学生のように、観客の皆様にも実際に自分のLASTWORDS、つまり「死ぬ前にどんな言葉を残したいか」を考えてもらい、Square150にて共有を行います。ヘルスケアデータだけでなく、自分の考えをDonationする体験を味わっていただきました。

第2部 i-GIPコンテンツ



inochi Gakusei Innovators' Program(略称:i-GIP)は、若者がヘルスケアの問題に取り組む課題解決型プログラムです。
2015年に関西から始まったi-GIPがついに全国にまで広がり、関西・関東・北陸・九州の中高生が「ロコモティブ・シンドローム」をテーマに、その課題解決に5ヶ月間取り組みました。
中高生チームと大学生メンターが二人三脚で、教育プログラムでの学びやチーム内の話し合いだけでなく、当事者や関係ステークホルダーへのヒアリングや外部との協力などの働きかけを通して、アイデアを創出し、社会実装に向けて動いてきました。
この活動の集大成として、それぞれの地域のフォーラムを勝ち上がった全6チームが本セッションで発表を行い優勝を決めました。



12:50 ~13:00

審査員紹介

【司会】

平良 優(たいら ゆう)

立命館大学文学部文学科1年、びわ湖大津観光大使

13:00 ~16:20

中高生6チームによるプレゼンテーション・審査発表

【登壇チーム】(数字は登壇順)

01	ロコモコダブル	KYUSHU 1位	04	1/16ドイツ (じゅうろくぶんのいち ドイツ)	KANSAI 2位
02	ポツンと四国。	KANSAI 1位	05	アガペー	HOKURIKU 1位
03	リョウガカミレ	KANTO 1位	06	OctPASS (オクトパス)	KYUSHU 2位

【進行】

鈴木 寛
(すずき かん)

東京大学教授／慶應義塾大学特任教授、inochi未来プロジェクト理事

【審査員】

池野 文昭
(いけの ふみあき)

Stanford University

大江 隆史
(おおえ たかし)

ロコモチャレンジ！推進協議会 委員長／NTT東日本関東病院 院長

八木 雅和
(やぎ まさかず)

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻/寄附講座 准教授

森口 悠
(もりぐち ゆう)

大阪大学医学部附属病院未来医療開発部国際医療センター 特任講師

第3部 WAKAZOコンテンツ



16:25~18:00

WAKAZO 紹介
万博についての紹介

2025大阪・関西万博開催まで、あと半年となりました。万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」をWAKAZOはどのように捉え、どんな未来社会をつくっていききたいのか、若者と大人が率直な意見を交わし、万博への機運醸成を図る場を創り上げました。

16:25~16:40

【登壇者】

inochiのペイフォワードとは



鈴木寛

東京大学教授
慶應義塾大学特任教授
inochi未来プロジェクト理事



竹原優

徳島大学医学部
WAKAZO 2024
LASTWORDS PL

- ペイフォワードとは？その理念について(新しい互助の形)
- LASTWORDSについて
- 鈴木先生のLASTWORDS発表と自己紹介
- LASTWORDSを考えること・共有すること・ドネーションする意義

16:45~17:45

【登壇者】

【ファシリテーター】

いのち輝く未来社会に向けての互助とは



五 嵐 大暉

徳島大学医学部 6年
WAKAZO 2024
いのちの対話 PL



澤 芳 樹

大阪大学病院医局長
inochi未来プロジェクト理事長



堺井啓公

公益社団法人 2025年
日本国際博覧会協会担当局長
(中小企業・地域連携)



浦中麻由良

日本生命保険相互会社
大阪・関西万博推進部専門部長
兼ヘルスケア事業部専門部長



嶋内隆人

中外製薬株式会社カスタマー
ソリューション部長



佐久間洋司

大阪大学社会ソリューション
イニシアティブ 特任研究員 /
2025年日本国際博覧会大阪
パビリオン推進委員会 ディレクター



奥村美玖

福井大学工学部
WAKAZO 2024 副代表

- パネリストによる、LASTWORDSを含めた自己紹介と事業紹介
- 事業の共通する部分から考える大切な価値観や思い
- 思いを踏まえて、どんな万博を作りたいのか？
- そして、万博を終えた後に何を残すのか？
- 残したレガシーでどんな新しい互助の形を実現できるのか？

17:50~18:00

【登壇者】

WAKAZOの万博への意気込み



奥村美玖

福井大学工学部
WAKAZO 2024 副代表

万博展示の説明

クロージング・閉会挨拶



18:00~18:10

【登壇者】



成 仁 脩(そんいんす)

大阪医科薬科大学医学部
WAKAZO2024 PL



濱田 帆花

大阪医科薬科大学医学部
I-GIP2024 KANSAI PL

ロビーコンテンツ



i-GIP inochi Gakusei Innovators' Program 2024
~若者が守る、いのちの空間~

i-GIPがこれまで取り組んできたデザイン思考や
ロコモティブシンドロームについての学びを
深めるパネル展示と、全国から選抜された
中高生8チームによる観客体験型のポスター
発表を実施しました。



【ポスター発表チーム】

KAEDE	i-GIP 2024 KANTO	team ひらがり	i-GIP 2024 HOKURIKU
まじまたい	i-GIP 2024 KANTO	とりてん	i-GIP 2024 KANSAI
天津飯	i-GIP 2024 HOKURIKU	探究第一、命第二	i-GIP 2024 HOKURIKU
ENISI	i-GIP 2024 KANTO	インテグラル	i-GIP 2024 KYUSHU

WAKAZO WAKAZO
2025大阪・関西万博 プレ展示

i-GIPブースの奥にあるWAKAZOブースでは、
WAKAZOが2025大阪・関西万博で実装する
「Life Data Donation」や「LASTWORDS」の
プレ展示として、体験型展示を行いました。
当日来場した方の心拍数やLASTWORDSの
ドネーション体験を通して、誰かのいのちを思い行動
する、「inochiのペイフォワード」を実感
できるものとなりました。



i-GIPとWAKAZOがー丸となって、二つのプロジェクトがどのように
「いのち輝く未来」を考え、実践しているかを、様々な体験を通して実感していただける
空間を創り上げました。

■ 開会宣言



一般社団法人 inochi未来プロジェクト 理事長の
澤 芳樹先生による挨拶で、
「inochi WAKAZO Forum 2024
～ともに歩こう。ともに生きよう。
いのち輝く未来に向かって。～」
が開幕しました。

■ 協賛企業代表 開会宣言(ビデオ挨拶)



協賛企業を代表して、株式会社りそな銀行
取締役兼専務執行役員の南 和利 様より
ご挨拶をいただきました。

■ inochi WAKAZO Project 説明



WAKAZO Project Leader 成 仁脩より、inochi
WAKAZO Projectと、その基幹プロジェクトである
WAKAZOの活動実績と今後の展望紹介を、
i-GIP 2024 KANTO Project Leaderの佐々木 理博
より、inochi Gakusei Innovators' Program(i-GIP)
の現在までの変遷の説明と、inochi WAKAZO Forum
2024のテーマ「ともに歩こう。ともに生きよう。
いのち輝く未来に向かって。」に込められた想い、今年
のi-GIPテーマ「ロコモティブシンドローム」の概要説明が
行われました。

■ LASTWORDS・ドネーションデモの説明



WAKAZO LASTWORDSプロジェクトリーダー竹原 優が、WAKAZOが提唱する、LASTWORDSの循環やその意義、2025大阪・関西万博でのWAKAZOの出展内容について説明しました。
また、会場にお越しになった観客のみなさんにもLASTWORDSを考えていただき、万博でのWAKAZOの出展を体験してもらうドネーションデモを行いました。

■ LASTWORDS宣言

—あなたが死ぬ前に残したい言葉はなんですか—

WAKAZO2024所属メンバーやi-GIP 2024参加中高生が自らのLASTWORDSを宣言し、その言葉にこめた思いやそのLASTWORDSを残したい理由を観客のみなさんと共有しました。



「あの時死ななくてよかった」

WAKAZO 2024 副代表
奥村 美玖



「たのんだよ！」

i-GIP 2024 KANSAI 参加中高生
田中 快



「忘れないでね」

i-GIP 2024 KANSAI 参加中高生
栗生 春那

■ 中高生代表6チームによるプレゼンテーション！（関西、関東、北陸、九州）



九州・代表：ロコモコダブル

「ロコトレを無理なく継続するためのダンスの開発・普及」

今年度は、関西、関東、北陸、九州において「ロコモティブシンドローム」を合同のテーマとして活動してきました。

本フォーラムにおいては、4地域の最優秀チームと追加登壇枠獲得戦を勝ち抜いた2チームの合計6チームによるコンペティションが開催されました。高校でのロコモ教育を導入するプランを提案した、関西の「ポツンと四国。」チームが優勝し、賞金15万円を獲得しました。



関西・代表：ポツンと四国。

「ロコモ教育を盛り込んだ高校の保健授業改革」



関東・代表：リョウガカミレ

「ロコモ予防意識向上のためのロコモ体験キットの開発」

■ 中高生代表6チームによるプレゼンテーション！（関西、関東、北陸、九州）



関西・追加登壇枠：1/16ドイツ

「杖を使用すべき人の基準を定めた
チェックリストの作成・普及」

各チームプレゼン時間8分

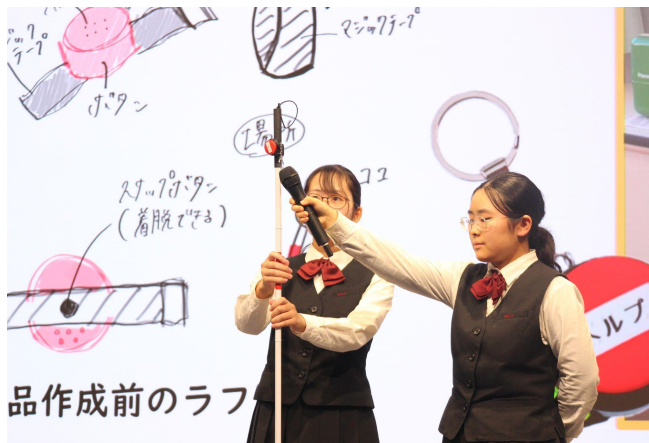
<発表順>

1. ロコモコダブル（九州・最優秀）
2. ポツンと四国。（関西・最優秀）
3. リョウガカミレ（関東・最優秀）
4. 1/16ドイツ （関西・追加登壇枠）
5. アガペー （北陸・最優秀）
6. OctPASS （九州・追加登壇枠）



北陸・代表：アガペー

「若年女性のロコモ予防を促進する、
脱毛ができる運動施設の提案」



九州・追加登壇枠：OctPASS

「視覚障がい者の自発的な運動を
促すための、杖に取り付ける
ストラップの開発」

■ 審査結果発表・表彰



関西・関東・北陸・九州より集った中高生6チームの中から最優秀チームが決定。高校でのロコモ教育の導入のために地元の自治体にプランを提言する行動力が評価された、関西代表の「ボツンと四国。」が優勝しました。

■ 審査員講評



医療・政策・起業等、各界のトップランナーを審査員としてお招きし開催した今回のコンペティション。専門家の視点からの今後につながるアドバイスとともに、一年間一生懸命活動してきた中高生への労いの言葉をいただきました。また、「i-GIPで活動した中高生が、これからの時代を牽引してほしい」という、未来を見据えた講評もいただきました。

■ inochi WAKAZO Forum 2024パネルディスカッション1

だれかのいのちを思い、行動することを、WAKAZOでは「inochiのペイフォワード」と呼んでいます。そして、お互いがお互いを助け合う循環型の社会を作る未来の実現のために、人生最期に残したい言葉を集める活動が「LASTWORDS」です。

本セッションでは、鈴木 寛先生をパネリストとしてお招きし、WAKAZOメンバーの竹原 優とともに、「LASTWORDSを考えること・共有すること・ドネーションすることの意義」についてディスカッションを行いました。



■ WAKAZOの万博への意気込み

2025大阪・関西万博成功に向けて WAKAZOを牽引してきた副代表の奥村 美玖が、WAKAZOの出展の説明と、とうとう迎える万博への期待や意気込みを宣言しました。



■ inochi WAKAZO Forum 2024 パネルディスカッション1

ファシリテーター：五嶋 大暉

パネリスト：①澤芳樹 ②佐久間洋司 ③堺井啓公 ④奥村美玖 ⑤嶋内隆人 ⑥浦中麻由良
(敬称略 / 登壇左から順)

■ inochi WAKAZO Forum 2024 パネルディスカッション2

2025大阪・関西万博に関わる登壇者が集い、WAKAZOの取り組みでのキーワードである「互助」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

《キークエスション》

- 皆さんにとって互助とは何ですか？
- 万博でやりたいこと、残したいことに互助の精神は入っていますか？
- 今日集まったメンバーで相互に連携できそうなものはありますか？

「いのち輝く未来社会に向けての互助」に対する想いを共有し、アフター万博にまで想いを馳せた、熱い議論が行われました。



■ クロージング



クロージングでは、i-GIP 2024 KANSAI PL 濱田 帆花とWAKAZO 2024 PL 成仁脩が閉会の挨拶を行い、今年一年のinochi WAKAZO Projectの総括と、i-GIP・WAKAZOが共通して持つ想いを観客のみなさんと共有して、inochi WAKAZO Project 2024を締めくくりました。

来場者アンケート集計結果

▶ 全体 満足度(5段階)	4.70
▶ 第2部 満足度(5段階)	4.54
▶ 第3部 満足度(5段階)	4.29
▶ ロビーコンテンツ 満足度(5段階)	4.67
▶ 2025大阪・関西万博への期待感(5段階)	4.42

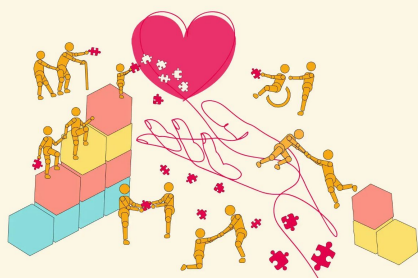
inochi WAKAZO Projectに寄せられた声(一部抜粋)

- もっと認知度が上がり、若者ならではのアイデアを発信でき、世の中を良くするための原動力の一つになってほしい。
- 「恩送り」について考えて生活していきたいと思った。
- 本当に魅力的なイベントだった。審査員長がおっしゃっていたように、「日本も捨てたものじゃない」と感じた。「私も自分にできることをやろう」と、背中を押された一日だった。
- 素晴らしい先生方と優秀な大学生の方々。もっともっとメディアで宣伝、取材、新聞掲載などあればいいなと思った。
- ぜひ、製品化まで実施してほしいと思った。皆さん素晴らしいアイデアで、社会実装に値すると思うと同時に、実際のビジネスを立ち上げる経験もしてほしいと思う。
- 学生ができることに限界はないと思った。高校生の子供に、大学生になったら参加したら？と声をかけた。

会場の様子



公式HP



inochi
WAKAZO
Forum
2024



<https://inochi-wakazo.org/2024/forum/>

24/6/28 9/6	エフエム石川で放送されているラジオ番組「Students Jam R」に出演 i-GIP HOKURIKUの活動内容、北陸inochi 学生 Forumの告知などを行いました。 ▶アーカイブ https://audee.jp/voice/show/86154
24/7/29 10/13	FM西東京で放送されている学生ラジオ番組「ミッドナイトスクール」に出演 i-GIP KANTOの活動内容、inochi KANTO Forumの告知などを行いました。 ▶ミッドナイトスクールに関するリンク https://842fm.com/program/midnight-school/
24/9/26	Steenz の Teen's Snapshots 気になる10代名鑑に掲載 「『inochi未来プロジェクト』が手掛けるプログラムへの参加が転機に。 若者の力で医療の課題解決をめざす【榊原・19歳】」 運営大学生としての目線で、i-GIPの活動内容を紹介しました。 ▶web版 https://steenz.jp/31037/
25/1/8	徳島新聞に、i-GIP KANSAIのチーム「ポツンと四国。」の活動が掲載 「ロコモ予防 若者に啓発」 若者に対するロコモ予防の啓発のためのアイデアが取り上げられました。 ▶web版 https://www.topics.or.jp/articles/-/1179226
25/1/8	読売新聞に、WAKAZOの取り組みが掲載 「『死』をみつめることは『生』を考えること…医学生ら募った最期の一言、今の尊さ 伝える」 LASTWORDSの取り組みとWAKAZO所属大学生の万博に向けた想いが取り上げられました。 ▶web版 https://www.yomiuri.co.jp/expo2025/20250107-OYO1T50049/